



合志市・熊本製粉太陽光発電所

所在地：熊本県
発電出力：約 1.0 メガワット
竣工時期：2012 年 12 月
特徴：合志市の清掃工場跡地を活用し、県内企業初となるメガソーラー発電事業への取り組み。



熊本製粉 弁天太陽光発電所

所在地：熊本県
発電出力：約 1.0 メガワット
竣工時期：2013 年 3 月
特徴：倉庫 3 棟の屋根上を有効活用したメガソーラー発電所。



大津太陽光発電所 *

所在地：熊本県
発電出力：約 1.1 メガワット
竣工時期：2013 年 9 月
特徴：養豚団地跡地を活用。コンクリート基盤等が残り、宅地等の開発が難しかった土地を、モジュールの設計・配置等を工夫し、新たな価値を生み出すものとして再生。



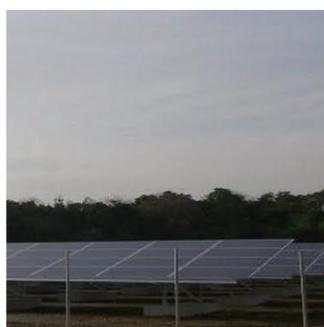
ビジュアルビジョン那須烏山市 七合中学校太陽光発電所

所在地：栃木県
発電出力：約 0.9 メガワット
竣工時期：2014 年 1 月
特徴：2012 年 3 月に廃校した中学校のグラウンド跡地を活用。発電所には災害時供給用蓄電池を備え、災害時には地域の避難場所となる設備に貢献。



合志農業活力プロジェクト太陽光発電所 *

所在地：熊本県
発電出力：約 1.0 メガワット
竣工時期：2014 年 3 月
特徴：自治体と地域企業と自然電力グループが協働して、発電所の売電収益の一部を地域の農業振興に還元するプロジェクト。



三和コンクリート工業株式会社太陽光発電所

所在地：山口県
発電出力：約 1.0 メガワット
竣工時期：2014 年 4 月
特徴：周囲の道路開発の結果生じた「ため池跡」の一部を、将来に渡り自然エネルギーも生み出す場所として有効活用していきたいという思いに基づいて計画。



和歌山みなべ東本庄太陽光発電所

所在地：和歌山県
発電出力：約 1.1 メガワット
竣工時期：2014 年 4 月
特徴：森林組合が所有する休眠地の活用策として始動。名産品「備長炭」の原料となる「ウバメガシ」の森が隣接しており、竣工後も本発電所と共存し、森林が育成される。



井川町赤沢山太陽光発電所

所在地：秋田県
発電出力：約 1.5 メガワット
竣工時期：2014 年 7 月
特徴：赤沢山スキー場跡地の活用としてメガソーラー発電所の設置を目指し、始動。



南伊勢自然電力太陽光発電所 *

所在地：三重県
発電出力：約 1.1 メガワット
竣工時期：2014 年 9 月
特徴：南伊勢町が所有する工業団地の一部を利用し、初の自社メガソーラーを設置。約 17 年間使用されていなかった土地を有効活用する。



山南第二太陽光発電所

所在地：兵庫県
発電出力：約 0.8 メガワット
竣工時期：2014 年 12 月
特徴：ゴルフ場の駐車場跡地に建設したもの。防音壁を設置してインバータの動作音を軽減するだけでなく、場内排水路等周辺住民への影響を考慮した設計となっている。



秋田大館自然電力太陽光発電所 *

所在地：秋田県
発電出力：約 2.2 メガワット
竣工時期：2015 年 1 月
特徴：大館市が所有する食肉センター跡地を利用し、約 20 年間使用されていなかった土地を活用。降雪地域であるため、設計・施工により一層の工夫が求められた。3 件目の自社メガソーラー発電所。



熊本菊池自然電力太陽光発電所 *

所在地：熊本県
発電出力：約 1.2 メガワット
竣工時期：2015 年 1 月
特徴：2 件目の自社メガソーラー案件であり、熊本県内では 5 件目の大規模プロジェクト。



グリーンファクトリーセンター白河太陽光発電所

所在地：福島県
発電出力：約 0.5 メガワット
竣工時期：2015 年 1 月
特徴：軟地盤であったが、セメントによる地盤改良で品質・安全性を向上。また、防草措置として木材チップを散布、茶色いフェンスを使用するなど、景観維持にも配慮した。



広島湯来太陽光発電所

所在地：広島県
発電出力：約 0.6 メガワット
竣工時期：2015 年 1 月
特徴：長年遊休地となっていたセメント 2 次製品工場跡地を利用。今後 20 年間、地元の協力会社や地域の人達と一緒に保守・運営していくなど、地域振興にも貢献する予定。



TeRaS 西伊豆太陽光発電所

所在地：静岡県
発電出力：約 2.0 メガワット
竣工時期：2015 年 2 月
特徴：遊休地となっていた板ガラス原料用珪（けい）石の採掘跡地を有効活用。元鉱山というアクセスの困難な場所だったが、地元企業の協力を得ながら資機材搬入、施工を工夫して工期どおり完工。



juwi 自然電力福島棚倉太陽光発電所 *

所在地：福島県
発電出力：約 0.6 メガワット
竣工時期：2015 年 3 月
特徴：グループ 6 件目の自社案件であり、初の M&A 案件。juwi 自然電力株式会社としては初の自社保有発電所。傾斜地が東西に広がっており、パネルの設置における設計・施工において工夫が求められた。



那須野が原太陽光発電所

所在地：栃木県
発電出力：約0.9メガワット
竣工時期：2015年3月
特徴：過去に畑・牧草地として使われていたが、約40年もの間遊休地となっていた土地を活用したプロジェクト。開発段階から保守・管理まで、地元の建設会社と共同して実施しており、建設施工において地元の協力を得て完成した。



志布志夏井太陽光発電所

所在地：鹿児島県
発電出力：約0.6メガワット
竣工時期：2015年3月
特徴：自然電力株式会社が開発を行い、juwi自然電力株式会社が設計・調達を行ったプロジェクト。



那須豊原第一太陽光発電所 *

所在地：栃木県
発電出力：約1.0メガワット
竣工時期：2015年3月
特徴：地元の再生可能エネルギーへの思いと、自然電力グループの企業理念が合致し、地域から多大なるバックアップを得て完工。隣接する那須豊原第二太陽光発電所と合わせて約3メガワットの再生可能エネルギーを提供する。



須賀川市舘山太陽光発電所

所在地：福島県
発電出力：約0.6メガワット
竣工時期：2015年5月
特徴：地元企業の産業用太陽光発電事業への進出をサポートしたプロジェクト。事業主、ファイナンス、地権者すべてが再生可能エネルギー発電所の普及を図りたい地域関係者の思いを汲み、実現した。



竹田希望ヶ丘太陽光発電所 *

所在地：大分県
発電出力：約1.6メガワット
竣工時期：2015年7月
特徴：地域における再生可能エネルギー発電事業へ関心が高かった事業主のプランを自然電力株式会社が企画・開発することにより具現化したプロジェクト。



胎内自然電力第二太陽光発電所 *

所在地：新潟県
発電出力：約1.8メガワット
竣工時期：2015年9月
特徴：自然電力グループとして、11件目の自社保有メガソーラー発電所。また、新潟県内における初のプロジェクト。



日創鹿児島太陽光発電所

所在地：鹿児島県
発電出力：約0.5メガワット
竣工時期：2015年12月
特徴：志布志市の畑に囲まれた、障害物のない見晴らしの良い発電所。フラットな土地を有効活用して最大限のパネルを設置。



野畑太陽光発電所 *

所在地：大分県
発電出力：約0.4メガワット
竣工時期：2015年12月
特徴：由布市の「由布市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」に基づく事前協議や、地域住民の方のご理解を得て完工したプロジェクト。自然電力グループ13件目の自社保有案件。



東岐波太陽光発電所

所在地：山口県
発電出力：約0.5メガワット
竣工時期：2015年3月
特徴：自然電力株式会社が開発を行い、juwi自然電力株式会社が設計・調達を行ったプロジェクト。



宮崎田野太陽光発電所

所在地：宮崎県
発電出力：約0.6メガワット
竣工時期：2015年3月
特徴：自然電力株式会社が開発を行い、juwi自然電力株式会社が設計・調達を行ったプロジェクト。



新茶第二太陽光発電所 *

所在地：宮崎県
発電出力：約1.2メガワット
竣工時期：2015年5月
特徴：ゴルフ練習場跡地を活用。自然電力グループ保有の6件目の太陽光発電所であり、九州で手がけた8件目のプロジェクトとなった。



那須豊原第二太陽光発電所 *

所在地：栃木県
発電出力：約2.1メガワット
竣工時期：2015年6月
特徴：地元の再生可能エネルギーへの思いと、自然電力グループの企業理念が合致し、地域から多大なるバックアップを得て完工。隣接する那須豊原第一太陽光発電所と合わせて約3メガワットの再生可能エネルギーを提供する。



胎内自然電力太陽光発電所 *

所在地：新潟県
発電出力：約0.6メガワット
竣工時期：2015年9月
特徴：自然電力グループとして、10件目の自社保有メガソーラー発電所。また、新潟県内における初のプロジェクト。



球磨錦味岡自然電力太陽光発電所 *

所在地：熊本県
発電出力：約2.3メガワット
竣工時期：2015年12月
特徴：自然電力グループが保有するメガソーラー事業の12件目の事案となり、熊本県内では3件目となる。



日創滋賀太陽光発電所

所在地：滋賀県
発電出力：約0.4メガワット
竣工時期：2015年12月
特徴：10年近く使用されていなかった用地を活用した、滋賀県初のプロジェクト。地元では「滋賀の北海道」と言われる程の多雪地域であるが、適切な架台を選択することによって、降雪にも対応した発電所を完工。



新茶第一太陽光発電所 *

所在地：宮崎県
発電出力：約2.0メガワット
竣工時期：2015年12月
特徴：九州南部3県（鹿児島・宮崎・熊本）を主な投資対象地域とした「南九州自然エネルギーファンド」の第1号投資案件。自然電力グループが完工したメガソーラー事業としては宮崎県内で2件目となり、自然電力グループが全国で保有する自社案件としては14件目となった。



国東第二自然電力太陽光発電所 *

所在地：大分県
発電出力：約 2.4 メガワット
竣工時期：2015 年 12 月
特徴：大分県内では 4 件目、自然電力グループが全国で保有する自社案件としては 15 件目の発電所となる。



尾道御調町太陽光発電所

所在地：広島県
発電出力：約 0.6 メガワット
竣工時期：2016 年 3 月
特徴：養鶏場の跡地を利用した発電所。南から北に階段状になっている地形に、連続横行のモジュール架台を採用して建設された。広島県内 3 件目のプロジェクト。



山鹿鹿北町太陽光発電所

所在地：熊本県
発電出力：約 0.6 メガワット
竣工時期：2016 年 3 月
特徴：採石場跡地として約 30 年間未利用だった土地を活用したプロジェクト。自然電力グループが手がけた熊本県内の案件としては、7 件目となる。



洋野太陽光発電所

所在地：岩手県
発電出力：約 25.0 メガワット
竣工時期：2016 年 5 月
特徴：旧ゴルフクラブの敷地約 410,000 m²を利用し建設。juwi 自然電力が EPC を手掛けた案件としては最大規模となる（2016 年 5 月末時点）。広大な敷地内の地盤に合わせ 2 種類の異なる杭を使用した架台を設置した。東北地方では 6 件目、岩手県では初の案件。



那須塩原市笹沼 1 太陽光発電所

所在地：栃木県
発電出力：約 1.3 メガワット
竣工時期：2016 年 12 月
特徴：自然電力株式会社とケネディクス株式会社が共同で設立、運用する「ケネディクス自然電力ファンド」の投資対象資産の一つ。土地の状況から、杭打の工夫や排水対策を講じ完工させた。栃木県内で 6 件目の太陽光発電所となる。



那須塩原市笹沼 4 太陽光発電所

所在地：栃木県
発電出力：約 1.3 メガワット
竣工時期：2016 年 12 月
特徴：自然電力株式会社とケネディクス株式会社が共同で設立、運用する「ケネディクス自然電力ファンド」の投資対象資産の一つ。荒地であった土地を、自然電力と地権者・行政との連携により発電所として再生させたプロジェクト。栃木県内で 7 件目の太陽光発電所となる。



薩摩川内開拓跡地太陽光発電所 *

所在地：鹿児島県
発電出力：約 1.8 メガワット
竣工時期：2016 年 12 月
特徴：九州南部 3 県（鹿児島・宮崎・熊本）を主な投資対象地域とした「南九州自然エネルギーファンド」の 3 号目となる投資案件。自然電力グループが鹿児島県内で完工した 4 件目のメガソーラー事業であり、全国で保有する自社案件として 18 件目となる。



高砂中筋太陽光発電所

所在地：兵庫県
発電出力：約 0.8 メガワット
竣工時期：2017 年 3 月
特徴：長年遊休地となっていた場所を活用した発電所。開発～設計・調達を自然電力グループが、工事を地元工事が行い完工したプロジェクト。



大田原市寺宿 1 太陽光発電所

所在地：福岡県
発電出力：約 1.7 メガワット
竣工時期：2016 年 1 月
特徴：自然電力株式会社とケネディクス株式会社が共同で設立、運用する「ケネディクス自然電力ファンド」の第 1 号案件として、投資対象資産となった 4 件の太陽光発電所の第 1 号完工発電所。自然電力グループが完工したメガソーラー事業として栃木県内で 5 件目の太陽光発電所となる。



福岡直方太陽光発電所

所在地：福岡県
発電出力：約 0.7 メガワット
竣工時期：2016 年 3 月
特徴：地権者は酪農家で、馬小屋を移設して敷地を確保した。北側斜面の難しい土地だが、法面・排水措置を的確に行い、周辺に配慮した設計となっている。初の福岡県内プロジェクト。



宮崎高原太陽光発電所 *

所在地：宮崎県
発電出力：約 0.9 メガワット
竣工時期：2016 年 5 月
特徴：九州南部 3 県（鹿児島・宮崎・熊本）を主な投資対象地域とした「南九州自然エネルギーファンド」の第 2 号投資案件。長年使用されていなかった土地を有効活用し、建設。地質を考慮し、3 種類の架台を使用した。宮崎県内では 3 件目のプロジェクトとなる。



大沼太陽光発電所 *

所在地：北海道
発電出力：約 1.8 メガワット
竣工時期：2016 年 7 月
特徴：北海道七飯町に位置する遊休地 36,000 m²を利用し、大自然の中の発電所が完工。北海道内で初の案件となり、自社案件としては 17 件目となる。



鹿児島県霧島市太陽光発電所

所在地：鹿児島県
発電出力：約 20.0 メガワット
竣工時期：2016 年 12 月
特徴：太陽光発電所としては大規模である 13km という長距離大容量の地中送電線を、各協力会社と連携を図ることで実現。地元企業・行政・地元住民を巻き込んで、前例のない難しい案件に粘り強く取り組んだ。再エネ普及の目標をまたひとつ前進させたプロジェクトとなった。



那須町寺子太陽光発電所

所在地：栃木県
発電出力：約 1.3 メガワット
竣工時期：2016 年 12 月
特徴：自然電力株式会社とケネディクス株式会社が共同で設立、運用する「ケネディクス自然電力ファンド」の投資対象資産の一つ。土地の状況から、杭打の工夫や排水対策を講じ完工させた。栃木県内で 8 件目の太陽光発電所となる。



グリーンファクトリーセンター太陽光発電所（増設分）

所在地：福島県
発電出力：約 1.5 メガワット
竣工時期：2017 年 3 月
特徴：キューピー株式会社が保有する植物工場の敷地の一部を利用したメガソーラー発電所。自然電力グループが開発・EPCを担った既設設備の増設。



新潟鈴木ファーム太陽光発電所

所在地：新潟県
発電出力：約 1.4 メガワット
竣工時期：2017 年 5 月
特徴：自然電力グループ初となるソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）による発電所。農園の一部約 18,900 m²の農地を利用して、メガソーラーを建設。発電所の下部にあたる農地では、遮光耐性に優れた牧草の生産が行われる。



北杜高根黒沢太陽光発電所 *

所在地：山梨県
 発電出力：約 0.5 メガワット
 竣工時期：2017 年 5 月
 特徴：自然電力株式会社が開発を行い、外部EPC会社が完工した発電所。自然電力グループとして、19件目の自社保有メガソーラー発電所であり、高根向大下太陽光発電所と共に、山梨県内における初のプロジェクト。松くい虫の被害により荒れていた山林の一部を活用した発電所となっている。



北杜高根大日向太陽光発電所 *

所在地：山梨県
 発電出力：約 0.5 メガワット
 竣工時期：2017 年 6 月
 特徴：自然電力株式会社が開発を行い、外部EPC会社が完工した発電所。自然電力グループとして、21件目の自社保有メガソーラー発電所であり、山梨県内では3件目のプロジェクト。病院跡地を活用し、残置森林や植栽により周囲の景観に配慮した発電所となっている。



石巻沼津太陽光発電所

所在地：宮城県
 発電出力：約 14.0メガワット
 竣工時期：2017 年 9 月
 特徴：juwi自然電力がEPCを実施した、宮城県内における初のプロジェクト。juwi自然電力オペレーションがO&Mを担当。既設のゴルフ場の地形を生かした造成工事を行う事で、パネルの設置可能なエリアを効率的に拡大した。



大田原市寺宿 2 太陽光発電所

所在地：栃木県
 発電出力：約 1.8メガワット
 竣工時期：2017 年 11 月
 特徴：自然電力株式会社とケネディクス株式会社が共同で設立、運用する「ケネディクス自然電力ファンド」の投資対象資産の一つ。ゴルフ場跡地を再生利用したプロジェクトで、自然電力グループが完工したメガソーラー事業として栃木県内で9件目の太陽光発電所となる。



唐津市湊風力発電所 *

所在地：佐賀県
 発電出力：約 2.0 メガワット
 竣工時期：2018年 2 月
 特徴：自然電力グループ初の風力発電所案件。自然電力グループが開発から完工まで手掛けた。自治体や地元企業、地域の金融機関などからの多数の協力のもと実現したプロジェクト。売電収益の1%を地域農業の活動支援に還元する予定。



みなべ第二太陽光発電所 *

所在地：和歌山県
 発電出力：約 1.1メガワット
 竣工時期：2018年 3 月
 特徴：自然電力株式会社が開発及び発電所稼働後、SPCを通して発電所の運営管理を行う。juwi自然電力株式会社が設計・施工管理を行ったプロジェクト。



大阪泉佐野太陽光発電所 *

所在地：大阪府
 発電出力：約 0.6 メガワット
 竣工時期：2018年 7 月
 特徴：自然電力株式会社が開発及び発電所稼働後、SPCを通して発電所の運営管理を行う。juwi自然電力株式会社が設計・施工管理を行ったプロジェクト。自然電力グループとして大阪府初のプロジェクト。



津幡町坂戸太陽光発電所 *

所在地：石川県
 発電出力：約 1.5 メガワット
 竣工時期：2018年 9 月
 特徴：休耕地の農地転用に地元の方々や町役場の力を借りて実現。土木工事は最小限に抑え、棚田の斜面を活用して建設。架台も約2mの積雪に耐えられる頑丈な仕様とした。自然電力グループとして石川県初のプロジェクト。



高根向大下太陽光発電所 *

所在地：山梨県
 発電出力：約 0.5メガワット
 竣工時期：2017 年 5 月
 特徴：自然電力株式会社が開発を行い、外部EPC会社が完工した発電所。自然電力グループとして、20件目の自社保有メガソーラー発電所であり、北杜高根黒沢太陽光発電所と共に、山梨県内における初のプロジェクト。分散型PCSを用いた発電所となっている。



那須塩原市鍋掛3太陽光発電所

所在地：栃木県
 発電出力：約 2.3メガワット
 竣工時期：2017 年 8 月
 特徴：長年遊休地となっていた場所を活用した発電所。自然電力のノウハウを活かし、系統連系の課題を乗り越え事業化を実現したプロジェクト。自然電力グループが事業開発・EPCを実施。栃木県内で9件目の太陽光発電所となる。



大田原市寺宿 3 太陽光発電所

所在地：栃木県
 発電出力：約 1.2メガワット
 竣工時期：2017 年 11 月
 特徴：自然電力株式会社とケネディクス株式会社が共同で設立、運用する「ケネディクス自然電力ファンド」の投資対象資産の一つ。ゴルフ場跡地を再生利用したプロジェクトで、自然電力グループが完工したメガソーラー事業として栃木県内で10件目の太陽光発電所となる。



那須町豊原乙太陽光発電所

所在地：栃木県
 発電出力：約 1.2メガワット
 竣工時期：2017 年 11 月
 特徴：自然電力株式会社とケネディクス株式会社が共同で設立、運用する「ケネディクス自然電力ファンド」の投資対象資産の一つ。長く放置されていた砂取り場跡地を、砂塵対策や排水対策を徹底し再生させたプロジェクトで、自然電力グループが完工したメガソーラー事業として栃木県内で11件目の太陽光発電所となる。



球磨錦味岡自然電力太陽光発電所（増設分） *

所在地：熊本県
 発電出力：約 0.8 メガワット
 竣工時期：2018 年 4 月
 特徴：自然電力グループが保有するメガソーラー発電所（IPP）の増設を行った。自然電力グループが開発・EPC・O&Mを担当。



志布志松山大原宅太陽光発電所 *

所在地：鹿児島県
 発電出力：約 0.6 メガワット
 竣工時期：2018年 5 月
 特徴：自然電力株式会社が開発及び発電所稼働後、SPCを通して発電所の運営管理を行う。juwi自然電力株式会社が設計・施工管理を行ったプロジェクト。



宮崎高岡太陽光発電所 *

所在地：宮崎県
 発電出力：約 1.8 メガワット
 竣工時期：2018年 9 月
 特徴：休耕地だった急傾斜地を有効活用したプロジェクト。平均傾斜が20度となる急傾斜地に、juwi自然電力の設計・施工ノウハウを大いに活かすことで実現した。



小布施松川小水力発電所 *

所在地：長野県
 発電出力：約 0.2 メガワット
 竣工時期：2018年 11 月
 特徴：自然電力グループ初の小水力発電所案件。自然電力株式会社が開発から完工まで手掛けた。小布施町、地域の金融機関、長野県などの地元からの多数の協力のもと実現したプロジェクト。水車は小水力発電事業におけるパートナーである、GUGLER Water Turbines GmbH(ググラール)社のフランシス型水車を使用した。